

郷土博物館

	事業内容	実施期間	説明
(1) 維持管理事業	ア 維持管理事業	通 年	郷土博物館施設の管理業務委託の実施 ①警備委託 ②清掃委託 ③エレベーター等設備関係 保守委託他
	当初予算額 20,833千円 (18,958千円) ※ ( ) はR2予算額以下同じ		
(2) 資料収集保管事業	ア 資料の収集	通 年	寄贈・寄託等により、展示・研究等に必要な資料の収集を行う。
	イ 資料の購入	通 年	展示や教育普及事業で使用する大鎧のレプリカを大人用と子ども用各1領ずつ製作する。
	ウ 資料の整理保管	通 年	収蔵資料の再整理作業を行う。カードの再確認、資料のデジタル化を行う。 また、他の博物館等の求めに応じて、資料や写真の貸出を行う。
	エ 新規収蔵資料 燻蒸	12 月	新たに寄贈、寄託等を受けた資料の燻蒸を行う。
	オ 収蔵庫・展示室 等環境調査	10月、2月	博物館内の有害虫の有無、浮遊菌類の採取、空気汚染 温湿度、照度などの測定を行い、資料保全上特に問題となる要素を把握する。
	当初予算額 5,133千円 (1,168千円)		
(3) 調査研究事業	ア 館内調査研究	通 年	収蔵資料や展示、教育普及に関する調査研究を行う。
	イ 千葉市民俗資料 調査	通 年	高度経済成長期以前の千葉市における生活の様子を聞き取り調査や民俗資料を収集することによって記録・保存する。
	ウ 千葉氏関係資料 調査	通 年	各地に残されている千葉氏に関する資料や情報を収集調査する。
	エ 『研究紀要』の 発行	3 月	『研究紀要』第28号の発行 1,000部
	当初予算額 1,644千円 (1,644千円)		

(4) 展 示 事 業	ア 常設展	通 年	千葉市に関わる歴史資料の展示 1階 歴史年表、千葉市域の城郭遺跡、季節の展示や民俗に関するミニ展示など。 2階 所蔵資料にみる日本の武器・武具 天文資料コーナー ※特別展期間中は撤収 3階 千葉氏の興亡と妙見信仰 4階 近現代の千葉 5階 展望室（パネル展示など）
	イ 特別展	8月3日 ～10月17日	「子どもの瞳に映った高度経済成長期の千葉市」（仮称） 市制施行の100年間で市の様相が最も大きく変化した高度経済成長期をテーマに、当時記した小中学生の文集に表れる「子どもの視点」から設定した各項目について、関連する資料を展示する。
	ウ 企画展	10月19日～ 12月12日  1月26日～ 3月6日	「黎明期の千葉市」（仮称） 市制施行前後の時期の千葉の様子について展示する。  「千葉氏関係パネル展」 千葉氏の歴史についてのパネル展を実施。  他、ロビー巡回展等を予定
	当初予算額 1,675千円 (1,675千円)		
(5) 学 習 支 援 事 業	ア 体験学習	毎月第3土 曜日	中世の鎧や直垂、桂、小袖、近世の袴（いずれも複製）などを着用し、衣装の歴史と当時の生活について学ぶ 対 象：身長135cm以上の人 定 員：各回15人 ※状況を見て再開（4月は中止）
	イ 出前授業、館内学習	通 年	エドゥケーターの指導により、出前授業や館内学習を行う。
	ウ 夏休み郷土史講座	7月20 ・22日	小学生を対象とした体験を通して郷土史について学ぶ講座 対 象：小学4～6年生（定員30人）
	エ 火縄銃演武	8月22日	火縄銃の実射（空砲）を行う。銃の現物資料や鉄砲隊の装束、撃ち方などを間近で見学し、歴史理解を深める。
	オ 鎧づくり体験講座	8月18日 ～20日	厚紙で「昼具足」と呼ばれる鎧のレプリカを作る。 対 象：市内在住の小学4～6年生（定員15人）
	カ 歴史散歩	2月	郷土博物館周辺の史跡や文化財などを訪ねて、見学と解説を行う。募集定員：30人

	キ 鎌倉騎馬武者体験	9月～11月	鎌倉時代の武士が用いた大鎧などを着用して乗馬体験を行う。
	ク 歴史講座	11月～12月	郷土の歴史を中心に、日本史の諸問題や最新の研究成果をわかりやすく解説する。 千葉経済大学との共同開催。
	ケ 千葉氏関係講座	6月26日 12月	千葉氏の歴史に関する市民向けの講座を実施する。 12月は千葉大学との共同開催。
	コ まんが「千葉常胤公ものがたり」の増刷	6月	まんが「千葉常胤公ものがたり」を印刷し、市内の学校へ配布する。(9,600部)
	サ 職場体験の受入れ	通年	市内の中学校からの要望に対応し、職場体験の機会を提供する。
	シ 博物館実習の受け入れ	8月17日 ～25日	学芸員課程履修の学生の実習を受け入れる。 資料の整理、資料の取り扱い、講座運営の補助、展示資料の作成や展示作業などを行う。
	ス 博物館ボランティアの育成・活用	通年	博物館の業務を支えるボランティアを育成し、博物館活動の充実を図る。 基礎講座：6月、専門講座：10月～1月
	当初予算額	4,045千円	(4,039千円)
(6)	市史編さん事業		
	ア 市史編さん資料調査	通年	千葉市域に関係する歴史資料の調査を行う。 ①千葉市域関係史料 ②『史料編 近現代』関係資料
	イ 史料編の編集	通年	次年度の刊行に向けて『千葉市史 史料編 近現代』第2巻目(大正～戦前)の編集・校正作業を行う。
	ウ 歴史読本『千葉市の歴史(仮称)』の刊行	通年	市制100周年の節目の年を迎えるにあたり、本市の歴史を平易な文章で見ても楽しめる解説書を編集・刊行する。
	エ 千葉市史研究講座	9月25日 10月9日	「千葉市史」等をもとに、市域の歴史的事柄を取り上げて史料に基づく歴史を平易に解説する。 対 象：市民(定員各回200人)
	オ 初級古文書講座	未定	古文書の解説を通じて、江戸時代の郷土を理解する。 対 象：市民(定員午前・午後とも各40人) テーマ：江戸時代の村の史料を読む
	カ 中級古文書講座	未定	初級古文書講座に比べ、より高度な理解力と、文章把握能力を身につける。 テーマ：江戸時代の村の史料を読む 全6回
	キ ニュースレターの発行	9月、3月 年2回	ニュースレター「千葉市史編さんだより」の発行 千葉市史編さんの状況を紹介するため発行。現在の事業内容、講座案内、資料紹介などを掲載する。

	ク 『千葉いまむかし』 の発行	3 月	『千葉いまむかし』35号の発行 千葉市域や関連地域に関する論文、史料の紹介、市史編 さん事業の記録などを掲載する。
	当初予算額 9,422千円 (9,857千円)		
(7) 協議会 その他	ア 千葉市立博物館 協議会	7月、3月頃	2回開催予定
	イ 千葉県博物館協会	日程未定	総会(千葉県立中央博物館)
	ウ 関東博物館協会	日程未定	総会(会場未定)
	エ 日本博物館協会	日程未定	全国博物館長会議(会場未定)
	オ 全国歴史民俗系 博物館協議会	11月17日～ 19日 日程未定	第69回全国博物館大会(札幌市)  年次集会
	当初予算額 220千円 (263千円)		
合計 予算額 42,972千円 (37,604千円)			